

社会福祉法人 どんぐりの家
令和5年度 事業報告

(1) 通所介護事業所

年間延べ利用者数、9,095名。

予算 74,603,290 円 決算 74,790,979 円（達成率 100.2%）

幅広い介護度の方がご利用される中、ご利用者同士で歩きにくい方には手を引いてあげたり、認知症の方に対しても一緒に手を叩きながら歌ったり一緒に笑ったりと温かい場면을多数見る事ができました。

今年度も「おこしやす」からの移行者が複数名ありました。本人はもとより、ご家族、担当ケアマネそして「おこしやす」のスタッフと情報交換し、スムーズな移行ができました。

感染症対策は「決められたことを 決められた通りに」実行し、お陰様で集団感染を発生させることなく1年を終える事ができました。

特に下半期は職員体制が整わず、ご希望はあっても一定数以上のご利用者を受け入れる事ができませんでした。継続的なスタッフ確保の難しさが浮き彫りになった1年でした。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

年間延べ利用者数、2,846名。

予算 35,550,000 円 決算 35,497,964 円（達成率 99.8%）

ご利用者が心穏やかに、楽しく一日を過ごしていただけるように、家庭的な雰囲気作りを大切にしました。その中で、画一的ではなく、個々の状況に応じた対応に気を付け、ご利用者が落ち着いて過ごしていただけるように努めました。

記憶力が低下し、忘れてしまう方に対しても、その時、その瞬間の気持ちを大切にして、ご利用者に「寄り添う」心を持つためにはどうするべきか、ミーティングなどでスタッフが協議し、実践しました。

生活リハビリとして、ご利用時行っている体操や、洗い物、洗濯物たたみ等、日常の中で身体を動かす事を目的とし、筋力の維持や、やりがいを持てるように努めました。

狭い空間のため、新型コロナウイルス等各種の感染症対策には、細心の注意を払いました。

(3) 居宅介護支援事業所

年間延べ給付管理件数、1,035件

予算 14,250,000 円 決算 14,187,960 円（達成率 99.5%）

不定期で発生するコロナやインフルエンザ等の感染症に対し、ご本人やご家族の思いに寄り添い、必要なサービス利用ができるよう、繋がりのある事業所を増やし柔軟なサービス調整を実施しました。

介護が重度化すると、施設や病院を選択されることが珍しくない中、在宅看取りの相談を受けるケースが定期的にあり、医療機関をはじめ、様々な事業所の連携によりご本人やご家族の意思を尊重できました。

予定より遅れましたが、12月から特定事業所加算の算定を開始しました。

(4) おこしやす

年間延べ利用者数、「すこやかシニア教室」2,306名。一般利用14名。

予算 8,900,000 円 決算 8,889,962 円（達成率 99.8%）

月曜日から水曜日の週3日間、午前中は「綾部市すこやかシニア教室」として、体操・口腔ケア・栄養改善をテーマに取り組みました。午後はおこしやす独自のサービスとして、身体や頭を使ったレクリエーションや、季節ごとの壁面飾り、簡単な工作にも取り組みました。その中で心身共に良い刺激が与えられるよう、新しい活動も積極的に取り入れていきました。

また、引き続き感染症対策は徹底して行った上で、「里福祉をすすめる会」様の「わいわい集会」でご利用いただいたり、一般利用として、地域の方の集いの場としてご利用いただきました。

(5) 配食サービス事業所

年間延べ配達食数、14,518食

予算 9,400,000 円 決算 9,436,700 円（達成率 100.3%）

「あんたとこの弁当美味しいわ」「どんぐりの家の弁当を知り合いに紹介したで」等、ご利用者の口コミという大きな宣伝効果により、新規利用希望が昼夕食ともに途切れない状況です。

昔ながらのイベント献立については、四季を通じて実施しました。また地域の秋祭りにおいては、200食以上の弁当依頼があり、当日無事納めることができました。

周囲から良い評価をいただいていることに慢心せず、今後も食べていただくご利用者のことを第一に考え、日々精進します。